

は じ め に

いよいよ21世紀の幕が上がりました。

少子・高齢化の進展や社会経済情勢の変化に対応し、豊かで活力ある新世紀の社会を築いていくためには、女性と男性が、互いに人権を尊重し、性別にとらわれないことなく、個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」を実現することが極めて重要な課題です。

国においては、平成11年6月に公布、施行された男女共同参画社会基本法を受けて、昨年12月に男女共同参画基本計画が閣議決定されるとともに、本年1月の中央省庁等改革において、新たに設置された内閣府に男女共同参画会議や男女共同参画局が設置されるなど、男女共同参画社会づくりに向けた取組体制が充実・強化されました。

本県におきましても、「男女共同参画社会づくり」を県政の重要課題として位置付け、平成9年2月に策定した「ひむか女性プラン」に基づき、各種施策を総合的に推進してまいりました。

この調査は、男女平等や女性の人権、家庭・地域生活などに関する意識と実態を把握し、男女共同参画社会づくりに向けた施策の一層の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施いたしました。この調査結果が、男女共同参画社会実現のため、関係機関、団体等をはじめ、県民の皆様幅広く御活用いただければ幸いに存じます。

終わりに、調査の実施に当たりまして、御協力いただきました県民の皆様に対し、心からお礼を申し上げますとともに、今後とも男女共同参画社会実現に向けた施策の推進に対する御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成13年3月

宮崎県生活環境部長 浜 田 範 幸